

1. 開催の趣旨

基礎部門研究部会ではミュージアム・マネジメントに関する基礎的な理論と実践理論の構築を目指しています。平成 21 年度は、改めて利用者側からの博物館運営の在り方を考える基礎として、本年度の大会で決議されたテーマ「ミュージアム・リテラシー 学校と博物館」を取り上げます。

第 1 回研究会ではミュージアム・リテラシーについて、多様な視点から体験し、議論し、考察を深めました。今回は第 2 回目として、利用者側、特に学校から見た博物館の運営の在り方を探ることを目的にミュージアム・リテラシーを考えます。なお今回は「生」のギャラリートークがあります。

2. テーマ 「利用者側から見たミュージアム・リテラシー 学校と博物館」

3. 開催日時・場所

日時 平成 21 年 10 月 25 日 (日) 13 : 00 ~ 17 : 00

場所 東京国立近代美術館 4 階会議室 (定員 25 名 : 先着順)

4. 発表内容 (発表 15 分 ・ 質疑応答 10 分) * 時間 ・ 内容は変更されることがありますのでご了承ください。

| 平成 2 1 年度 第 2 回 J M M A 基礎部門研究部会研究発表会 | | | |
|---------------------------------------|---|---------------------|--------------------|
| | 発表テーマ | 発表者 | 発表時間 |
| 1 | 開催の趣旨：利用者側からの視点「ミュージアム・リテラシー」をどうとらえるか。 | 国立科学博物館 小川 義和 | 13:00 ~ 13:15 |
| 2 | 提言：学校と博物館の連携による科学的体験学習プログラムの開発から見えてきた課題 | 国立科学博物館 渡辺 千秋 | 13:15 ~ 13:40 |
| 3 | 報告：歴史系博物館と学校との連携における現状と課題 | 九州国立博物館 池内 一誠 | 13:40 ~ 14:05 |
| 4 | 報告：科学系博物館を活用した小学校の授業展開の現状と課題 | 大妻女子大学 石井 雅幸 | 14:05 ~ 14:30 |
| 5 | ギャラリートーク&ブレイク | | 14:30 ~ 15:20 |
| 6 | 報告：美術館を活用した図工授業の展開 | 筑波大学附属小学校 西村 徳行 | 15:20 ~ 15:45 |
| 7 | 提言：学校と博物館との連携を通して、博物館を考える | 大多喜町立老川小学校 永島 絹代 | 15:45 ~ 16:10 |
| 8 | 提言：来館者からの視点と博物館リテラシーの関連 | 千葉市動物公園 並木 美砂子 | 16:10 ~ 16:35 |
| 9 | まとめ | 科学博物館後援会 高安 礼士 | 16 : 35 ~ 17:00 |

5. 特別協力 東京国立近代美術館

* 基礎部門研究部会では、21年度「ミュージアム・リテラシー 学校と博物館」として以下を実施。

第1回目(7月4日)は理論編「ミュージアム・リテラシーとは」

第2回目(10月25日)は実践編1「利用者側から見たミュージアム・リテラシー 学校と博物館」

第3回目(年度末)は実践編2「博物館側から見たミュージアム・リテラシー」(仮)

6. 入場について

博物館の有料ゾーンを通過するため、必ず事前申し込みをお願いします。

また入館方法は以下のようにです。入館時間が限られておりますのでご注意ください。

会場：東京国立近代美術館 4階会議室

東京メトロ東西線「竹橋」駅より徒歩3分

アクセスマップ <http://www.momat.go.jp/Honkan/map.html>

入館方法：

12:45～13:00の間に、1階エントランスロビーへお越しください。

入館するためのチケットをお渡しします。

お申し込み先 日本ミュージアム・マネジメント学会事務局

〒136-0082 東京都江東区新木場2-2-1

電話・ファックス 03-3521-2932

URL/ <http://www.jmma-net.jp/index.html>

e-mail/ kanri@jmma-net.jp

以下のフォームに従い、お申し込みください。

希望研究会名

お名前

御所属

御連絡先(TEL 又は e-mail 等)